



本校教育目標：【自主】自ら進んで学ぶ生徒【寛容】明朗で思いやりのある生徒【挑戦】健康でたくましい生徒
〈重点目標〉 自らよく考え、やり抜く生徒 ～夢の実現～

原町三中だより

令和元年5月15日(水)
 第4号
 発行責任者
 校長 鈴木 太
 電話 22-3802

Just Do It Now! ～夢への一歩を踏み出そう～

5月14日(火)の6校時に前期生徒会総会が開かれました。
 今年の生徒会活動のスローガンは「**Just Do It Now! ～夢への一歩を踏み出そう～**」です。夢を実現するためには、まず一歩踏み出して行動に移すことが大切だということで、生徒会執行部から提案され、承認されました。

総会にあたり、校長からは次のような話をしました。
 「生徒会活動というのは、生徒が自分たちの学校生活をよりよいものとするために、生徒自らきまりや活動目標を決め、生徒自ら活動することです。一部の役員の人たちに任せっきりになりがちですが、生徒会活動で大事なことは、誰かがやってくれる、何かをしてもらうのではなく、自分みんなのために何が出来るかを考えて、進んで何かをしていく姿勢ではないかと思います。」



いじめ撲滅のために

今回の議案の中で、「いじめ撲滅宣言」が承認されました。「いじめは絶対に許さない」ということをしっかりと意識し、生徒全員で互いの人権をしっかりと守っていくために提案されたものです。総会では、副会長の鈴木君(3年)が読み上げ、それに続いて全校生が大きな声で復唱しました。生徒の皆さんにはぜひ、この「いじめ撲滅宣言」を再度自分たちのものとして意識し、一人ひとりの力で「絶対に許さない」という雰囲気を保ち続けてほしいと願っています。



生徒会「いじめ撲滅宣言」

いじめを「しません!」「させません!」「見過ごしません!」

- 私たちは、常に思いやりの心を持ち、相手の気持ちを考えて行動します。
- 私たちは、いじめを見て見ぬふりをしません。
- 私たちは、やさしさと笑顔に満ちた学校にします。

※この宣言をもとに、各クラスでいじめ撲滅のためのスローガンを考え、全校集会等で発表し、みんなで実行していきます。

いじめは、いじめる側といじめられる側という二者関係だけで成立しているのではなく、「観衆」としてはやし立てたり面白がったりする存在や、周辺で暗黙の了解を与えている「傍観者」の存在によって成り立つことが多いものです。この「いじめ撲滅宣言」の取り組みを通して、生徒集団の中に自浄力が育ち、傍観者の中からいじめを抑止する「仲裁者」が現れるような学級・学校経営をしていきたいと考えています。